

## 志手原地区「つながり広場」

# 上野台中生 看板手作り

上野台中学校（三田市志手原）の生徒らが地元の地域交流拠点「しではらつながり広場」の看板を手作りし、このほどお披露目会が開かれた。

つながり広場は2020年度、志手原校区地域づく



上野台中の生徒が作った  
看板＝三田市志手原（提供）

り協議会の活動拠点としてオープン。介護や福祉といった行政サービスをはじめ、年金や防犯、健康管理などの相談を幅広く受け付けているほか、お年寄り向けの体操教室を開くなど住民が集う場になっている。

同協議会から依頼された生徒会が看板を制作。同校は、渡りチョウの「アサギマダラ」が好むフジバカマを育てるプロジェクトを地域ぐるみで進めており、看板にもデザインをあしらった。

お披露目会では、生徒に感謝状が手渡されたほか、フジバカマの葉をあしらったしおりも贈られた。同協議会の西田孝夫会長（75）は「この看板を見て多くの住民が集まり、つながる場になると思う」と期待を寄せた。

（小森有喜）